

尾高藍香 尾高 漢詩人。文政十二年七月二十七日武藏國生れ、明治二十四年一月一日歿（二二〇—一九〇一）。諱停忠、字子行、通稱新五郎。

變名榛澤六郎、別號藍香。養蠶製絲之業としり。若年經史の道に湛澤業一等を新授。明治二年静岡藩勸業局、次々大蔵省勸業寮富岡製絲場掛となり初代場長に就任。のち辭職して湛澤と實業に従事。

著書『藍香遺稿』（昭和十四年七月五日埼玉・尾高定四郎編輯）等。

文獻、高橋和生著『藍香』（昭和十八年十一月）二十日

日本出版社『近代日本興業達人傳』、塚原夢洲著『新藍香伝』（古

圖書）現代文説、昭和五十四年十一月十一日青淵文庫『藍香』（古

書）等。

